

養豚場からの悪臭 及び汚水の流出 について

(河川環境保全
対策特別委員会)

福岡八宮地内の養豚場からの悪臭並びに汚水の流出については、以前から大河原家畜保健衛生所・仙南保健福祉事務所が同施設の現地調査を実施し、ふん尿の適切な処理等について再三にわたり指導してきたが、3月1日、白石川源流の白銅沢へのふん尿の流出があり、同8日に白石市議会河川環境保全対策特別委員会を開催し、地元自治会長とともに現地調査を実施した。現地では、鼻をつく悪臭が漂い、場内からの汚水が沢に流出した痕跡を確認した。

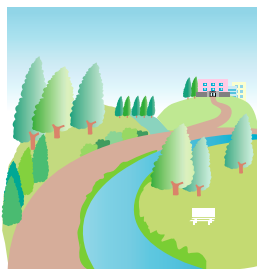
また、周辺の立木が枯れている状況から、以前から汚水が流出していたことが推測された。

これらの状況から、自然環境及び生態系への悪影響は計り知れないものがあるとともに、周辺住民の生活環境を脅かすことが懸念される。



知事に要望書を提出

また、この沢の水は、湯川に流れ込み、児捨川に合流していることから、農用水としても利用されており、米作等の農業にも悪影響を及ぼしかねない状況にあるため、4月4日、宮城県知事に対し、関係法令に基づいた適切な処置を早急に講じるよう、市長、正副議長、正副委員長、及び関係部課長とともに要望活動を行った。



小久保平地区 地滑り対策

(建設水道常任委員会)

小原の小久保平地区で発生した大規模な地滑りを受け、3月5日、小久保平地区地滑り対策会議が開かれた。この会議は白石市長を本部長として、白石・刈田地区選出の安藤・佐藤両県議とともに、正副議長、建設水道常任委員、地元自治会長、市職員で構成され、市当局の現状報告の後、現地調査を行った。

現地においては、市道が隆起し、大きな亀裂が確認されたほか、塩の花果樹団地内では陥没、パイロット道路でも亀裂を確認した。

地滑りの規模は、地形判読によるとおよそ6ヘクタールに及ぶと推定され、市では同小久保平原線において、亀裂の修復および、隆起箇所を避けるため、片側交互通行等の通行制限を行うなど通行の安全確保に努めているとの説明を受けた。



市道小久保平原線の片側交互通行



隆起した道路

この市道は地区民の生活にとつて欠かす事の出来ない道路であることから、一日も早い復旧が待たれるが、地滑りの原因が判明しないほか、砂防指定区域または保安林を含む広範囲で、かつ、市は地滑り対策のノウハウを有していないところから、3月15日、宮城県大河原土木事務所長並びに宮城県大河原地方振興事務所長に対し、地滑り対策について要望を行った。

白石市議会議員選挙後初の臨時議会は5月11日開催予定です。また、6月定例会は6月11日開催の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。あわせてホームページをご覧ください。

編集後記

新緑の季節となりました。遠く山々を見渡せば木々の芽吹きが感じられます。平成15年6月から4年間、本委員会のメンバー7人で、第130号から第145号までの編集をして参りました。これまで、市民の皆様にご愛読いただきましたことを厚く御礼申し上げます。また、次号からは、4月に選挙された新しい議員の議会活動をお知らせいたします。これからもご意見、ご感想をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。ありがとうございます。議会広報特別委員会 委員一同